



野菜を育ててみよう！

初めての農業講座



3月13日、葛原公民館と神有地区の畑で、初めての農業講座を開催しました。

岐阜トヨペット(株)の横山太一さんを講師に迎え、午前は座学で農業や農法の種類などを学び、午後は畑で畝作りや種植えを実践しました。

参加者からは、種芋を植えるときの向きや、畝の高さと植物の根の張り方の関係など、実習を通じて出た質問が飛び交い、活気あふれる講座となりました。

古田紹欽記念館で

消しゴムはんこづくり教室

3月19日、古田紹欽記念館で、小学生17人とその保護者が、消しゴムはんこづくり教室に参加しました。

この教室では、消しゴムはんこ作家たましいいこさんを講師に迎え、小学校低学年の子どもは専用のへらを、小学校高学年の子どもはデザインナイフを使い、動物や果物の形に消しゴムを彫りました。そして、出来上がった消しゴムはんこに好きな色のインクをつけて、実際に紙に押してみました。

参加した子どもたちは「楽しかったので家でもやってみたい」と話しました。



令和3年度

大桑城跡発掘調査報告会



3月21日、花咲きホールで、令和3年度大桑城跡発掘調査報告会を開催しました。

報告会では、(公財)日本城郭協会理事の加藤理文さんによる「山城の守護所・大桑城の構造を探る」をテーマにした特別講演と、市教育委員会による発掘調査成果の報告が行われました。

オンラインでの参加も含めた計83人の参加者は、熱心に講演や報告を聴き、大桑城の魅力について深く知る機会となりました。

市内全保育園に

木製机・椅子を設置

3月24日、高富保育園で、木製机・椅子のお披露目会を行いました。

この事業は、森林環境譲与税を活用し、木材利用の促進や普及啓発を目的に行ったものです。

岐阜女子大学家政学部の黒見敏文教授が監修し、市が委託した市内事業者が国産ヒノキを使って、1〜5歳児の成長に合わせた机160台と椅子480脚を製作しました。

園児は「すべすべしてるからずつと触りたい」と話し、机や椅子の手触りを楽しみました。



新事業確立を応援！

山県マロンエールプロジェクト



3月28日、名古屋市のJ・Rセントラルタワーズで、山県マロンエールプロジェクトの記者発表を行いました。

このプロジェクトは、市の特産品を生かして、コロナ禍の影響を受ける地域を活性化しようと市が企画したもので、栗をイメージしたクラフトビールと、栗を使ったお菓子を試作しました。

今後は、市内外から試作品の製造や販売、流通などを担う事業者を公募することで、持続・継続的な地域経済の循環が生まれることが期待されます。

令和4年度

山県市消防入団式

3月27日、四国山香りの森公園香りドームで、令和4年度山県市消防入団式を行いました。

式典では、藤根団長から、再任の小山統括分団長や土田統括分団長、就任された分団役員、新入団員に対して辞令を交付しました。また、新入団員を代表し第9分団眞鍋団員が新入団員宣誓を行いました。

団員は、市長の式辞や団長の訓辞を受け、より一層防火・防災に対する意識を高めました。



あらいクリニックに 感謝状贈呈



3月29日、市役所公室で、あらいクリニックから空気清浄機2台の寄贈があり、感謝状を贈呈しました。

あらいクリニックは、平成14年以降20年間にわたって、市の保健や救急、予防医療に関わる寄贈および寄附を行っています。

寄贈いただいた空気清浄機は、市民の皆さんが安心して来庁できるよう、庁舎内や新型コロナウイルスワクチン接種会場で活用します。

シーシーエヌ(株)と 有線テレビ事業譲渡契約調印式



3月28日、市役所公室で、シーシーエヌ(株)と山県市有線テレビ事業譲渡契約を締結しました。この契約により、令和4年4月1日から、山県市有線テレビの基本サービスとインターネット接続サービスは、シーシーエヌ(株)のサービスとして提供されます。

市長は「市民の皆さまに情報や安心を届ける媒体として、引き続きよろしく願いいたします」と話しました。

山県市産業創出委員会委員長 山田彰さんが表敬訪問



3月22日、市役所公室で、山県市商工会の山県市産業創出委員会委員長である山田彰さんが、補助金制度の成果報告のため市長を表敬訪問しました。

山田さんは、過去2年間で約150社の市内企業が、国・県・市の補助金などを活用し、生産性の向上や労働環境の改善を実現できたことを市長に報告しました。また、市内企業の経営課題が、人材の採用と事業の承継であることも報告し、今後の補助金制度に対して期待を寄せました。